

すぽっとライト

NO. 34



香川県綾歌郡宇多津町

四国運輸局では、消費者ニーズや消費者行政上の課題を把握し、その結果を行政に役立てていくことを目的として公共交通機関の利用者等を対象にインタビューを行っています。

今回は、四国旅客鉄道株式会社の宇多津駅バリアフリー化について、3月12日に完成式典が行われたので、利用者の方から寄せられた声なども交えながら、より利用しやすくなった駅施設をご紹介します。

宇多津駅のある宇多津町は、都道府県のうちで最も面積が狭い香川県の中で、一番面積の狭い市町ですが、人口密度は高く、町北部の塩田跡地を通るさぬき浜街道周辺には多数の商業施設や観光施設、経済活動の拠点となる企業の立地も進んでいます。その一方、厄除けでも有名な四国霊場第78番札所「郷照寺」や「宇夫階神社」等の寺社や古い街並みも残っています。また、町のまんなかを JR 予讃線が走っていて、宇多津駅のある中心部は、小・中学校、役場や銀行・郵便局があり、マンションや一戸建て住宅が建ち



並んでいます。その西側には、大学や専門学校があり、四国だけでなく岡山方面からも瀬戸大橋線を利用して通学される方もおいで、にぎわいのある町です。

さらに、緑豊かな自然と景観の美しい、南西部の青の山、北東部の聖通寺山やうたづ臨海公園は魅力あふれる場所です。ここから見渡せる瀬戸内海国立公園は、今年3月16日に指定80周年を迎えました。

さて、今回のインタビュー「宇多津駅」エレベーターの完成は、宇多津駅が瀬戸大橋開通に伴い高架になった昭和 62 年からの宇多津町の皆さん、宇多津町に來られる皆さんの念願でした。

これまで、手すりにしがみついて一段一段ゆっくりしかホームに行けなかったお年寄りの方、ベビーカーをかつぎながら赤ちゃんを抱いたお母さんの姿がありました。鉄道会社にも利用者の方から、「宇多津駅に來ますが、荷物が多いときはエレベーターかエスカレーターがあればよいと思います」（県外からお越しの方）「エスカレーターかエレベーターがよい、困ります」（地元80 歳代の方）とのご意見をいただいていた。

また、小学校の総合学習で駅について学んだ地元の小学 6 年生の皆さんが、町長さんを訪ねて「宇多津駅にエレベーターをつけて」とお願いをされていました。これは、お年寄り、体が不自由な方、赤ちゃんを連れたお母さん達が少しでも楽に安心して駅を利用するためにエレベーターが必要と考えたためでした。

宇多津駅のバリアフリー化については、交通バリアフリー法に基づく、自治体と地元関係者の皆さん、交通事業者である四国旅客鉄道と国が協議会を設立して検討が進められてきました。今回は、エレベーター設置のほか、多機能トイレ、触知案内図、誘導案内点字ブロック、各種サイン（ホームやトイレ等への誘導、位置の告知や乗降条件等の案内等）の費用約 1 億 5,000 万円を事業者と地方自治体と国が各々3分の1 負担しております。それでは、使いやすくなった駅施設を簡単にご案内いたします。

まず、エレベーターですが、上りと下りホームに各1基設置されました。出入口が2箇所あり車椅子利用者の方が後向きにバックしなくても、90度曲がるだけで安全に乗降できるようになっています。



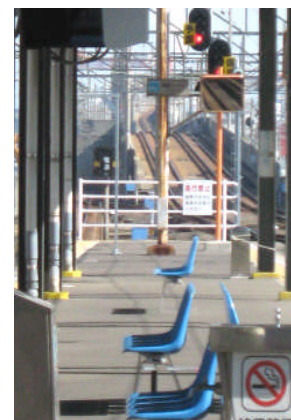
多機能トイレには、オストメイト対応設備、全身が映る鏡や利用時に具合が悪くなったときに駅員に連絡できるインターフォンも備え付けられています。改札付近には点字で書かれた触知案内図が設置され、案内板の前を通る人を感知して案内図の位置を知らせる音声案内もしています。



改札口は、車椅子がゆったり通過できるように100センチメートル幅を設けています。また、駅内の誘導案内の点字ブロックは、ホームでは線路側への転落防止のために内方線付き点状ブロックが敷設されています。線路側以外の端では、高さ100センチメートルの転落防止柵が110センチメートルのものに取り替えられました。階段には、体勢をより安定できる二段手すりを両側に設置し、視覚障がい者の方のための情報を点字で示し、円滑な利用に配慮されています。利用者への情報提供サイン（各施設への誘導サイン、施設の位置サイン、乗降や現在位置の案内サイン）も整備され、列車の運行情報（列車の種類・行き先や運行状況等）も7色表示可能なLEDを使ってわかりやすく表示されています。



最後に式典の当日、駅員さん達に声をかけておられた方がおられましたので、ご紹介いたします。
○エレベーターができてよかったですね。みんな便利になる。
（女性）
○できたあ、安全で使いやすくなる。おめでとう。（女子学生）



インタビュー実施日：平成26年3月12日（水）・聞き手：佐野、俵原